

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

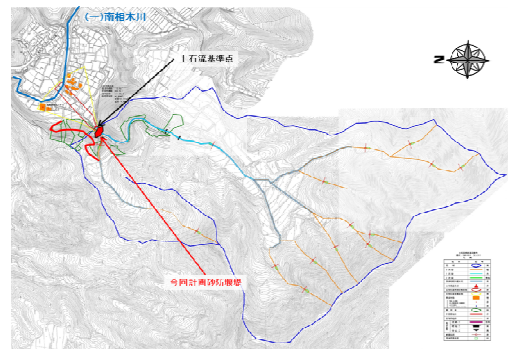
事業名		通常砂防		路河川名等	西沢					
事業毎の通番		1	市町村名	南相木村	箇所名(ふりがな)	西和田(にしわだ)				
事業概要	事業目的	西沢は、一級河川南相木川へ流入する土石流危険渓流Ⅰであり、流域には不安定土砂や倒木が多く存在しているため、豪雨時に土砂災害の発生が懸念されている。また、保全対象区域には人家7戸のほか、南相木村地域防災計画に位置付けられた避難所が立地しており、村道が被災すると避難所が孤立化する恐れがある状況となっている。そのため、砂防堰堤を設置し、人家及び避難所等公共施設の保全を図る。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等	砂防法					
	関連する事業、計画等									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家7戸、村道、和田集落センター(地域防災計画における避難所)								
	着手年度	平成28年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	2.9	国庫	160,000	その他	144,000	一般財源	16,000
	全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 1基			320,000					
	年度事業内容(主な工種)	測量・調査・設計			10,000	5,000	4,500	500		
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家7戸、村道、和田集落センター(地域防災計画における避難所)							
		間接的効果(定量的・定性的)								
評価の視点	必要性	【保全人家】7戸 【保全公共施設】和田集落センター 市道 【要配慮者利用施設】なし 【避難場所・避難路】和田集落センター(地域防災計画での避難所)							評価	
									B	
	重要性	【過去の災害履歴】なし 【交通影響】村道が被災すると人家や避難所が孤立化する 【地域防災計画位置付け】地域防災計画に位置付けあり(土石流危険渓流 避難所)							評価	
									B	
	効率性	【費用対効果】B/C=2.9 【早期効果発現】事業期間:5年間 【工法等比較検討】平成26年度砂防計画策定 【流域の総合調整】治山事業と調整中							評価	
									A	
緊急性	【地形地質】地質については特に問題なし 【流域植生】無林地や倒木が多数 【平均渓床勾配・土砂整備率】勾配:1/10 土砂整備率:2.5% 【危険地区】土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域あり							評価		
								A		
計画熟度	【情報共有】関係者を中心に周知 【地域要望】南相木村より要望があり協力的 【地域合意】事業目的について合意形成が図られている 【住民参加】H27年度地域特性に配慮した防災訓練を実施する予定							評価		
								B		
部意見	当該渓流の保全対象には地域防災計画に位置付けられている避難所が立地しているため、速やかな土砂災害対策が必要である。	行政改革課意見	流域内に不安定土砂や倒木が多数存在している。保全対象には人家、村道、避難所である集落センターがあることから、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	B			

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



全体計画図



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成23年度に土砂災害防止法に基づく警戒区域、特別警戒区域が指定され、警戒区域内に南相木村の地域防災計画上に位置付けられた避難所(和田集落センター)が立地していることから、砂防事業を実施することとした。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	土砂災害防止法に基づく警戒区域内に避難所が立地していることから、地元地域から砂防堰堤等の設置の要望を受けている。
③事業説明等の経緯	砂防計画を策定したのち地元説明会を開催する予定である。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	周辺環境への影響を抑えることを念頭に砂防設備の設計を進める予定である。
⑥地域活性化への影響と配慮	砂防事業により、地域住民の安全・安心を確保するとともに、災害のない地域づくりを推進し、地域の活性化を図る。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:36° 2' 13" 東経:138° 32' 21"